

題材観

本題材は、中学校学習指導要第3章2(1)A表現のア「歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。」を受けて設定した。

音楽科の教科としての方向目標は、「豊かな情操を養う」ことである。情操とは「価値ある方向に動こうとする感情」とされている。人間の感情の動きが教科目標になっているので、音楽科では、音楽的な知識や技能などと人間の感情をつなぐ活動が必須である。よって、感情を動かす糸口としての歌詞の内容やそこに描かれる情景や心情などを、楽曲の旋律や強弱表現などとかかわらせて歌唱表現する力を育成する本題材は大変有意義である。

本題材で取り扱う教材は、混声三部合唱曲「友～旅立ちの時～」である。本教材は、仲間とのつながりや友だちへの思いなどを歌った楽曲である。共にすごした仲間それぞれが新たなステージへ旅立つという場面設定は共感しやすく、「見上げる空」というキーワードが楽曲の始めと終わりで見え方を変える構成で、心情の変化も捉えやすい。また、オーギュメントコードをなぞる旋律は切ない感情を想起させるが、リズムは付点やシンコペーションの多用によって乗りやすい。つけられている強弱記号は、歌詞が描く場面や心情の変化に沿って細かくつけられているため、歌詞の単語一つ一つと強弱のかかわりを考えやすい点も、本題材にふさわしいと考える。

「一中におけるコンピテンシー」

本題材で育成すべき「一中におけるコンピテンシー」を「自律的活動能力」に設定した。音楽科では、「自律的活動能力」を「物事の価値を見つけることで、主体的に目標を設定し、その達成のための見通しや方法を立案・実行・振り返る能力のこと」と捉えている。そこで、本題材の、歌うことの価値を考え、めざす歌唱表現に向けて取り組む活動が、「自律的活動能力」の育成に有効と考える。

～学習内容の関連(系統性)～

小学校	中学校1年生	中学校2年生
「歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図を持って歌うこと」 歌詞や曲想の分析をある程度提示されて表現活動に取り組んできた段階。	「歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと」 歌詞を主体的に分析したり共感的に捉えたりして表現を工夫する段階。	「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと」 これまでの経験を汎用的に利用しながら、自らの価値判断を伴ったより豊かな音楽表現を工夫していく段階。

生徒観

本学級の生徒にレディネスアンケートを実施して、次のような結果となった。(平成27年11月上旬実施)

1. 本題材でつけたい音楽の能力について

- ① 既習の合唱曲「僕が守る」の中で最も強い思いを込めたい部分はどこですか。また、それはなぜですか。
〔歌詞を根拠に表現を工夫する意識〕

歌詞と表現のかかわりの捉え方	割合
ア 歌詞を理由に挙げ、共感的に捉えて解釈し、思いを書いている。	35%
イ 歌詞の好きな部分、印象的な部分を書いている。	48%
ウ 曲想を理由に挙げている。	10%
エ 「なんとなく」と書いている。無回答である。	7%

歌詞と関連付けて表現を工夫する生徒は、ア+イで全体の約8割に達するが、そのうち、共感的に好きな歌詞に思いをはせ、主体性をもって表現の工夫と関連付けている生徒は35%あと少ない現状にある。

② 「友～旅立ちの時～」の中に出てくる強弱および速度の記号の意味がわかっているか。〔表現の技能の基礎としての知識定着度〕

正答数（10問中）	割合
10	19%
9～5	52%
1～4	13%
0	16%

強弱記号の意味の理解は、表現の工夫をする上で必須の基礎知識であり、正答者が2割にとどまっていることが課題である。

「一中におけるコンピテンシー」

① 目標を達成しようとする主体性

目標を設定できる (90%)	できない (10%)
----------------	------------

② 目標を達成する際の計画性・方法を見つける力

見通しを持って方法を立案できる (75%)	できない (25%)
-----------------------	------------

③ 目標を達成するまでの意欲の低下理由

気持ちのすりへり (54%)	欲求に負ける (13%)	身体の疲れ (13%)	
----------------	--------------	-------------	--

④ 意欲の低下の回復理由と、次の目標設定

目標の再確認 (38%)	仲間への意識 (38%)	自戒 (12%)	認められたさ (12%)	周りのせい (4%)
--------------	--------------	----------	--------------	------------

このアンケートから、目標を設定できる生徒は90%であり、その75%が目標達成のために見通しをもって方法を立案することができている。また、目標を設定できる生徒のうち、54%の生徒が気持ちのすりへりを、目標達成までの間に意欲が低下する場合の理由としてあげている。この生徒が、一旦低下した意欲を回復させるためには、「目標の再確認」と「仲間への意識」にアプローチすることが有効である。

指導観

歌詞を共感的にとらえ、込めたい思いを工夫して表現する力をつけるために、既習楽曲を参考にした歌詞の読み込みを行う。既習曲への先輩の書き込みを参考に、歌詞の理解や歌詞への思いを考えさせながら、ピックアップした部分への発問を行い、特に感じ取らせたい心情を確実に押さえられるようにする。併せて、基礎知識としての意味理解の定着のために、強弱記号反復練習を行う。フラッシュカードを使用して毎時間練習をする。

「一中におけるコンピテンシー」

「自律的活動能力」と育成するために次の4点に留意する。

① 歌うことそのものの価値を問う場面の設定

音楽の授業内の決められた活動としてだけでなく、自分にとって歌うことがどのような価値を持つのかを考えさせる。先輩からの意見も紹介し、イメージや価値観を広げさせる。

② 「パフォーマンス課題」の設定

「パフォーマンス課題」を設定し、相手意識を持って歌唱表現を主体的に行えるようにするという「手立て」によって、題材を貫いた目標・目的を明確にし、その達成のための具体的な方法を考えて実行していく「すべ」を身に付けさせる。

③ 演奏の録画と試写

めざす歌唱表現の課題点や改善できた点を録画で可視化し、前回と比較して改善させるという「手立て」によって、主体性を高め、どのような合唱にするか、目的と方法を見つけていくという「すべ」を身に付けさせる。

④ 題材を貫く1枚のワークシートを使用⇒「見通しを持つ」というすべを身に付けさせる。

題材を通して1枚のワークシートを使用し、目標の再確認の他、歌詞の読み込みや、考えたことなどの関連がわかる内容にするという「手立て」によって、どのようにめざす歌唱表現の完成に向かっていくか見通しを持つという「すべ」を身に付けさせる。

題材の目標

○表現したい意図をもって強弱などの表現を工夫して歌唱できる。

★**自律的活動能力**：活動に価値を見出し、目的に向かってよりよい表現づくりができる。

指導と評価の計画

(1) 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
○歌詞の内容に共感するなどして、意図をもって合唱しようとしている。	○表現したい意図にふさわしい強弱などを工夫している。	○意図を表現するのにふさわしい表現の方法を見出して合唱している。	/

(2) 題材指導計画(全5時間)

※各パートの音取りは、前時までに帯で継続的に行うものとする。(15分間×3時間程度)

時	学習活動	評価				評価規準 (評価方法)	「一中における コンピテンシー」
		関 意 態	表	技	鑑		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱練習をする。 ・歌詞の読み込みと、共感できる部分を学級で確かめる。 	◎				歌詞の内容に共感して合唱しようとしている。	
2	<p>(本時)</p> <p>課題発見 情報の収集・整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題を受け、伝えたい思いを持つと共に、めざす表現のイメージを持つ。 	◎				意図をもって合唱しようとしている。	自律的活動能力 (活動の目的や価値を考へて、主体性を持つこと)
	<p>パフォーマンス課題</p> <p>来年度4月の新1年生の初めての音楽の授業。「先輩からのメッセージビデオ」としてこのクラスの合唱映像を流します。新1年生に思いが届く合唱映像を作ってください♪</p>						
	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱練習をする。 						

3	情報の収集・整理・分析 ・共感できる歌詞への思いと強弱表現の関わりを学ぶ。 ・表現練習をする。(録画)	◎	表現したい意図にふさわしい強弱などを工夫している。	自律的活動能力 (見通しを持てること)
4	情報の収集・整理・分析 ・録画を試聴して見通した表現ができているか分析する。 ・表現練習をする。(修正→録画)	◎	表現したい意図にふさわしい強弱などを工夫している。	自律的活動能力 (何をどのようにするかを学び得られること)
5	情報の収集・整理・分析 ・録画を前回と比較して鑑賞し、見通した表現に近づいたか分析する。 振り返り ・表現練習をする。(修正→録画)	◎	聴き手に伝わる表現で合唱できている。	自律的活動能力 (活動の目的や価値を考えて、主体性を持てること)

本時の学習

(1) 本時の目標

伝えたい思いを持って、めざす合唱をイメージできる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準・評価方法 ○教科 ★「一中におけるコンピテンシー」
1 題材を貫く課題と本時のめあてを知る。(10分)		
・号令・点検をする。 ・4月からの変化・成長に思いを馳せる。	◇規律を整え、学習にふさわしい環境をつくる。 ◇歌詞カードを黒板に掲示する。 ◇中学校生活1年目の締め括りを意識させる。 ◇4月からの歌声の変化に気づかせる。 ◇歌声と気持ちのつながりを考えさせる。 →初めての校歌練習や体育大会の練習始めには声が出なかった →緊張, 不安・・・ →互いによく知らない人間関係, 中学校に入って変わったと思われるのが恥ずかしい・・・ ⇒今は気持ちも変わったので歌声も変わったことを押さえる。	
「すべ」	「手立て」	
物事の価値を見つけるというすべ	物事や活動が、自分にとってどのような価値があるかを考えさせるという手立て	
・歌うことの価値について考える。	① みんなは今、なぜこの曲を歌うのですか →授業だから, 楽しいから・・・ →怒られるから, 合唱ができれば嬉しいから	

<p>・パフォーマンス課題を知る。</p>	<p>② 歌手の人たちはなぜ歌うのだろうか (写真付きカードで紹介) ③共に全校合唱を創り上げた先輩たちは、なぜ歌うのだろうか。 (インタビューのプリントを紹介)</p> <p>⇒<u>歌うことの価値を深めることへの興味を喚起する。</u></p> <p>◇1年間の成長を実感して、いよいよ「先輩」になろうとしている生徒への期待も込めて提示する。</p>	
-----------------------	---	--

パフォーマンス課題

来年度4月の新1年生の初めての音楽の授業。「先輩からのメッセージビデオ」としてこのクラスの合唱映像を流します。新1年生に思いが届く合唱映像を作ってください♪

<p>・取組みの見通しを知り、本時のめあて確認を確認する。</p>	<p>【めあて】めざす合唱をイメージできる。</p> <p>◇「ふりかえりシート」にめあてを確実に書かせる。</p>	
-----------------------------------	--	--

2 課題についての情報を収集・整理し、見通しをもつ。(10分)

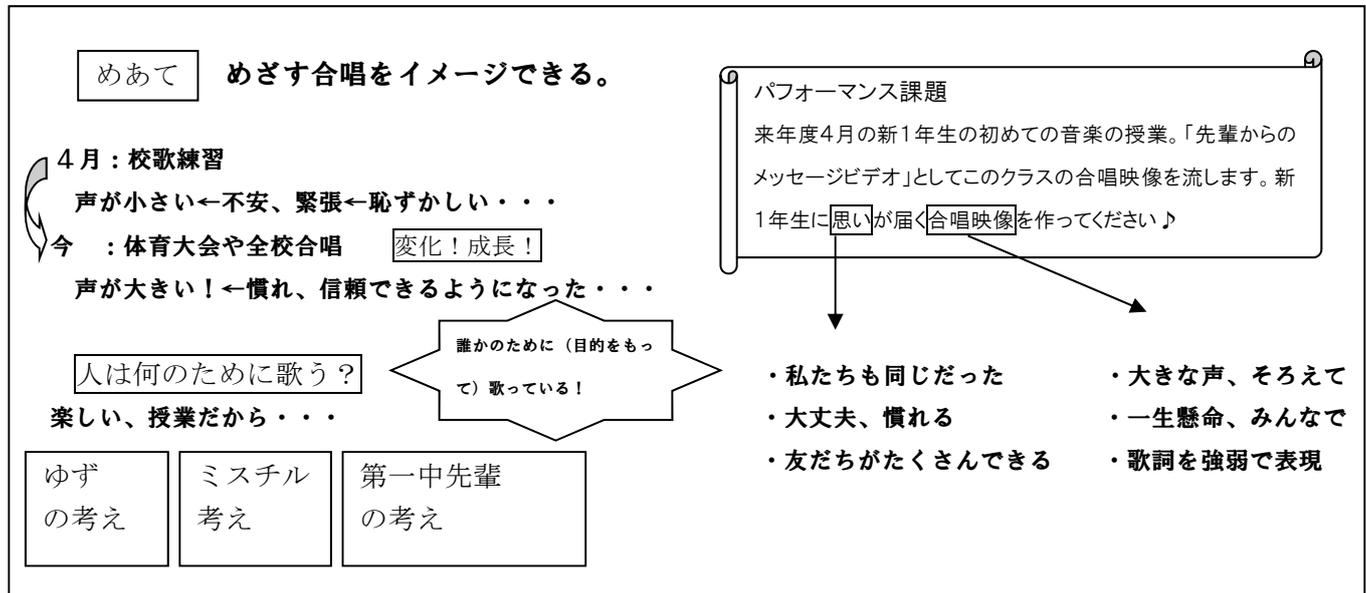
「すべ」	「手立て」	
見通しを持つというすべ	目的の達成に向けて見通しを立てて取り組ませるために、客観的に評価させるという手立て	
<p>・めざす合唱のイメージを想像する。 個人思考(シート記入) →発表による全体交流 (友だちの意見は色を変えてシートに記入)</p> <p>・目指す合唱のイメージを想像する。</p>	<p>◇新一年生にどんな思いをとどけるかイメージさせ、先ほど思い出した4月の思いについての板書にライン引き、キーワードの板書を行う。</p> <p>◇届けたい思いを表現するには、どんなビデオにすれば良いかをイメージする。 〈予想される生徒の反応〉 態度面：姿勢よく、口をあけて 合唱：大きな声で、思いを込めて、きれいなハーモニーで 歌詞への思い：意味を理解して、味わって ⇒板書で、意識して練習することを確認する。</p>	

3 課題に取り組む。(25分)

<p>・エクササイズを行う。 ① 強弱記号のフラッシュカード ② ブレストレーニング、発声練習</p>	<p>◇挙手での発表をテンポよく行う。 ◆口の大きさやお腹の使い方など指示を出しながら行う。</p>	
---	--	--

<ul style="list-style-type: none"> 音取りの確認練習。 合唱を聴いて、めざす合唱のイメージを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇各パート練習場所に分かれて、CDやピアノで練習をする。 ◇一つの班が前に出て全体の合唱を聴き、始めに想像しためざす合唱についての気づきを話す。これを参考に、全員で発表交流をして、より具体的なイメージを膨らませる。 ◆意見に対して「なぜ?」「十分ですか?」など切り返すことで、イメージに広がりを持たせる。 ◆全体交流の内容は、色を変えてメモするように伝える。 	<p>○イメージを具体的に書いている。(ワークシート)</p>
<p>4 本時のまとめを行い、次時につなげる。(5分)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 <p><まとめの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> みなさんは、新一年生に対して「私たちも不安だったけど、今ではこんなに良い仲間になれたから、みんなも大丈夫。」という気持ちを届けたいと考えましたね。この思いが届くように、次回からの合唱では、一生懸命さが伝わるくらい大きな口で、団結が伝わるようにみんなの声の大きさもそろえたいですね。歌詞も読みこんできたので、込めたい気持ちを強弱でも表現していきましょう。 <ul style="list-style-type: none"> 振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇板書に沿って読み上げながらまとめる。 	<p>★自律的活動能力については、題材の終末時に、キーワードにあたる「価値(意味)」「目的」「見通し」などを使って、今後に生かせる内容を書かせて見取る。</p>

(3) 板書計画 (明朝体は貼物)





music seat



2016年 月 日～ 1年 組 番 名前 ()

新たな日々へと旅立つ時。同じ空の下でつながっている僕たちをこの歌が見つないでくれる。

友～旅立ちの時～

北川悠仁 作詞・作曲

友 今君が見上げる空は どんな色に見えていますか？

友 僕たちにできることは 限りあるかもしれないけれど
確かな答えなんて 何一つない旅さ 心揺れて迷う時も
ためらう気持ちそれでも 支えてくれる声 気づけば いつもそばに

友 進むべき道の先に どんなことが待っていても

友 この歌を思い出して **僕らを繋ぐこの歌を**

明日の行方なんて誰にも分からないはずさ 風に揺れる花のように
確かめ合えたあの日の 約束胸に信じて 未来へ 歩いてゆくよ

Wow 遠く遠く Wow 終わらない夢

Wow 強く強く Wow **新たな日々へと旅立つ時**

友 さようならそしてありがとう 再び会えるその時まで

友 僕たちが見上げる空は どこまでも続き 輝いてる

同じ空の下 どこかで僕たちは いつも繋がっている

Q. 4月から、いろんな出来事や場面がありました。どんな「あの日」どんな「支えてくれる声」があっただろう？

Q. 比べよう、「今君が見上げる空」と「僕たちが見上げる空」はどう違う？

「今君が見上げる空」はどんな色？どんな空？それはなぜ？

「僕たちが見上げる空」はどんな空？それはなぜ？



Q. その他、この歌詞について考えること・思うこと

わかるところも出てきた！

数か所のみわからない。

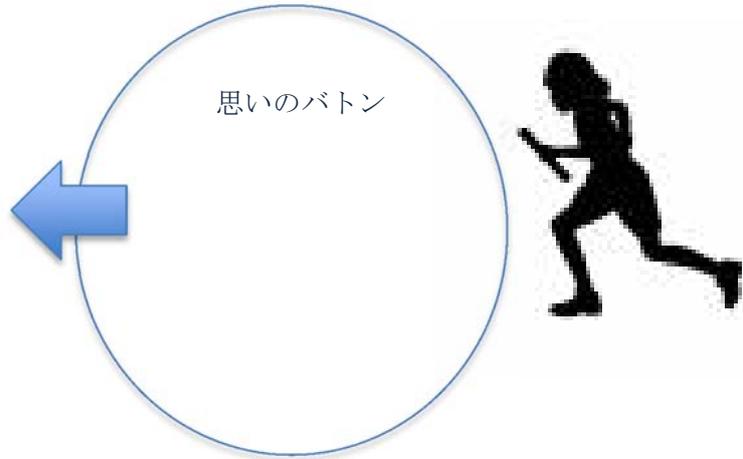
他パートにつられずに歌える！

ハーモニーを聴きながら歌える！

パフォーマンス課題 貼る

？ 思いを届けるには、どんな合唱映像にすればいいだろう ？

どんな合唱にする？



CHECK! ①

月

日

CHANGE! (こう修正する!)

CHECK! ②

月

日

CHANGE! (こう修正する!)